平成18年3月10日に開催し、平成17年度事務・事業報告案、平成17年度会計報告および決算見通し案、平成18年度事業計画案、平成18年度収支予算案の4件について、全て異議なく承認した。

c. 企画推進委員会（3回）

平成17年7月28日、9月1日に開催し、平成17年度事業について実施スケジュールの確認、実施状況の把握を行い、事業活動の推進をはかった。平成18年3月3日、次年度計画についての審議を行った。

d. 運営委員会（4回のうち3回は企画推進委員会と合同開催）

平成17年7月28日、9月1日、10月12日に開催し、平成17年照明普及賞の選考に関わる審議、照明普及賞募集などに関わる情報システム化の検討などを行った。

平成18年3月3日、平成17年照明普及賞の決定を行った。

(2) 会勢

平成16年度末 52社（207.0口）

平成17年度末 50社（204.5口）

12.2.2 事業報告

(1) 優秀照明施設、照明普及功労者の表彰

平成16年完成の優秀照明施設、普及功労者の選考、表彰を実施。（全77件）平成17年5月27日表彰を行った。

(2) 「あかりの日」キャンペーン

関係3団体と共催し、「あかりの日」キャンペーンを全国10地

区で実施し、リーフレット、電球を街頭配布した。

また、「第6回全国小学生ポスターコンテスト」も実施（応募471点、表彰111点）した。

(3) あかりのたよりの発行

普及部により（バックナンバー）を学会ホームページ上にて公開した。

(4) 定期刊行物の発行

○あたらしい照明

140号「平成16年照明普及賞号」3500部 平成17年5月発行

141号「光の風景 ～移り行くあかり2005～」1550部 平成17年11月発行

○新・照明教室

「オフィス照明 ～省エネルギーと快適性を両立するために～」2300部 平成18年2月発行

(5) 特別刊行物の発行

「あかりの日」リーフレット 200500部 平成17年9月発行

(6) 照明講習会への講師派遣

○照明設計技術セミナー（依頼元：雇用・職業開発機構）

平成17年10月13日～14日

(7) 照明普及地区活動の推進（各地区での講習会講演会などの実施）

各地区にて、学会支部活動と共同で実施。

（井上 岳・東京電力㈱）

12.3 日本照明委員会（日本、国際）の活動

12.3.1 運営委員会の主な活動

(1) 事業運営委員会（淵田隆義委員長）

・第13回（2005年6月27日）、第14回（2006年3月9日）JCIE セミナーの開催を支援した。

・第21回日本照明委員会大会（2005年7月13日）の開催を支援した。

・第37回通常総会、第15回 JCIE セミナー、第22回日本照明委員会大会などの準備を推進した。

(2) 技術運営委員会（金谷末子委員長）

・CIE の各部会、技術委員会およびレポーターなどの活動状況の把握とその対応、国内委員会による技術活動の推進を中心に活動した。

・第21回日本照明委員会大会特別講演とプログラムを企画立案した。

・第13回 JCIE セミナー「博物館・美術館のあかり—展示空間の演出と展示物の保護」を企画立案した。

・CIE 会長 van Bommel 氏来日記念講演会「光の視覚的効果と生物学的効果—今後の研究課題と照明計画への展開—」を企画立案した。

・第14回 JCIE セミナー「光がサポート “心と身体の健康”」を企画立案した。

・関連学協会と共同で4団体共同規格「照明用白色 LED 光源測定方法通則 第2版」の発行に協力した。

12.3.2 ISO/CIE 規格国内審議委員会（矢口博久委員長）

2005年度事業計画に基づき、委員会を2回開催し、下記の審議を行った。

・第1回委員会（2005年10月18日）

CIE DS019.2/E "Photocarcinogenesis Action Spectrum (Non-Melanoma Skin Cancer)"（非黒色腫型皮膚がんの光発ガン作用スペクトル）に対する NC 投票にあたっての事前審議を行った。

・第2回委員会（2006年1月16日）

CIE DS014-1.3/E "Colorimetry - Part 1: CIE Standard Colorimetric Observers"（CIE 標準観測者）および CIE DS014-2.3/E "Colorimetry - Part 2: CIE Standard Illuminants"（CIE 標準イルミナント）に対する NC 投票にあたっての事前審議を行った。

12.3.3 照明関連国際規格委員会（矢口委員長）

国際規格の整備、情報交換、日本提案型の国際規格推進を目的とした照明関連団体の横断的委員会である。参加団体は、日本電球工業会、日本照明器具工業会、照明学会、日本色彩学会、人間工学会、建築学会および日本照明委員会の7団体である。2005年度は3回の委員会を開催した。また、標準化に向けた重点課題を審議する「LED 光源の生体安全性規格化 WG（第2期）」、「照明光源（LED を含む）の演色性評価方法 WG」および「屋内作業場の照明設計ガイド WG」を設置し、審議を開始した。

12.3.4 JCIE ホームページ委員会（中村芳樹委員長）

・委員会を15回開催し、ホームページをリニューアルした。

12.3.5 国内委員会の活動

(1) 第1部会「視覚と色」国内委員会（中野靖久委員長）

・平成17年7月13日、金沢工業大学にて第1部会国内委員会を開催した。TC1-48「CIE 出版物の15.2の改訂」によりまとめられた CIE 15 (3rd edition) "Colorimetry" の翻訳作業を TC1-48国内技術委員会で検討することになった。第1部会の今後の進路について、応用に目を向けたアプローチが必要との意見があった。

・「照明用光源（LED を含む）の演色性評価方法 WG」が矢口会

長を委員長として発足した。現在、TC1-62「LED光源の演色性」で新しい演色評価方法に関するTC設立の動きを受け、日本からの提案を取りまとめる活動を行っている。

- (2) 第2部会「光と放射の物理測定」国内委員会(齊藤一朗委員長)
第21回日本照明委員会大会(金沢工業大学)において、2005年5月16日～5月18日にスペインのレオンで開催された第2部会会議ならびに技術委員会の動向を紹介した。その後、国内委員会を開催して第2部会国内委員会幹事を選出した。

- (3) 第3部会「屋内環境と照明設計」国内委員会(古賀靖子委員長)

CIE出版物157-2004「Control of Damage to Museum Objects by Optical Radiation: 光放射による展示物の損傷の抑制」の翻訳出版委員会を立ち上げ、JCIE翻訳出版No.15「博物館展示物の光放射による損傷の抑制」を作成した。

- (4) 第4部会「交通照明と信号」国内委員会(斎藤孝委員長)

- ・2回の国内委員会を開催した。

- ・関連技術委員会の活動状況、および日本の対応について審議し、特にTC4-36「道路照明の可視度設計」について成定康平委員から、TC4-43「道路トンネルの非常時の照明」について斎藤孝委員長からそれぞれ活動報告がなされた。

- (5) 第5部会「屋外及びその他の照明応用」国内委員会(川上幸二委員長)

- ・国内部会会議を3回開催し、各TCに関する情報交換を行うとともに、日本意見のとりまとめを行なった。

- ・TC5-19「非常照明」の部会投票について審議し、賛成票を投じることとした。

- ・TC5-11「カラーテレビジョン放送のためのスポーツ照明実用設計ガイド」の原案の翻訳を行った。

- ・TC5-13「屋外作業場のCIE/ISO規格」に関するCIE S015とCIE S016の2つのCIE規格を翻訳し、JCIE翻訳出版No.15「CIE規格屋外作業場の照明基準」を刊行した。

- (6) 第6部会「光生物学と光化学」国内委員会(河本康太郎委員長)

- ・委員会を3回開催した。

- ・TC6-57「青色光網膜傷害および網膜の熱的傷害の作用スペクトルと関連用語の標準化」特別技術委員会(河本康太郎委員長)では、構成員間で分担して、作用スペクトルの最近の試験データの収集と関連専門用語の抽出を行っている。

- (7) 第8部会「画像技術」国内委員会(会津昌夫委員長)

- ・2005年12月に11名の委員を集め、国内委員会を開催した。2005年11月に、アメリカ、アリゾナ州、スコッツデール市で開催された学会と併催の部会会議および技術委員会を中心に、TC8-01～TC8-08の活動報告と情報交換を実施した。

- ・TC8-03に関する国内技術委員会に関しては、JBIMIA(社)ビジネス機会・情報システム協会)と協働して、ガマットマッピングに関する評価データを収集して、TC8-03会合に提出している。

- ・スコッツデール市における部会会議にて、TC8-09: Image Archiving, TC8-10: Office lighting for imaging, および R8-07: New Reportership on Chromatic Adaptation Transform in CIECAM02が新設することが部会レベルで決まったので、対応を検討し、TC8-09はスコープがはっきりするまで会津委員長、池上委員が委員登録をし、TC8-10に関しては、矢口会長が委員登録をすることになった。

- ・CIE TC8-03は、ICC (International Color Consortium) からの要請に応える形で、ガマットマッピングアルゴリズムの標準化に

関して、ICCと会合を持った。

12.3.6 大会・セミナー活動

- (1) 第21回日本照明委員会大会

- ・日時: 2005年7月13日(水)

- ・場所: 金沢工業大学

- (2) 第12回JCIEセミナー「人体と太陽UV防御」

- ・日時: 2005年4月23日(金)

- ・場所: 日本教育会館(一ツ橋ホール) 7階中会議室

- (3) 第13回JCIEセミナー「博物館・美術館のあかり—展示空間の演出と展示物の保護」

- ・日時: 2005年6月27日(月)

- ・場所: 東京都庭園美術館 新館大ホール

- (4) 第14回JCIEセミナー「光がサポート“心と身体の健康”」

- ・日時: 2006年(平成18年)3月9日(木)

- ・場所: 電力館8階ホール

- (5) CIE会長van Bommel氏来日記念講演会「光の視覚的効果と生物学的効果—今後の研究課題と照明計画への展開—」

- ・日時: 2005年(平成17年)9月29日(木)

- ・場所: きゅりあん(品川区立総合区民会館) 7階イベントホール

12.3.7 国際活動

- (1) JCIEの国際活動(矢口博久会長)

- ・中間大会(2005年5月13日～5月21日)に参加

- ・スペイン・レオンにて開催されたCIE中間大会コンファレンスに、JCIEから12件の論文が発表された。

- (2) CIE規格案の審議、投票

- ・CIE DS014-1.3/E "Colorimetry - Part 1: CIE Standard Colorimetric Observers" に対し、賛成のNC投票を投じた。

- ・CIE DS014-2.3/E "Colorimetry - Part 2: CIE Standard Illuminants" に対し、賛成のNC投票を投じた。

- (3) CIE本部およびNC活動への支援

- ・2007年CIE北京大会支援のため、中国照明学会に金谷副会長を派遣し、意見交換を行った。

- ・照明学会国際活動委員会との連携により2007年CIE北京大会への支援活動を開始した。

- (4) CIE第1部会「視覚と色」(中野靖久部会委員)

- ・2005年5月16日、スペインのレオンにおいて第1部会会議が開催され、日本からは佐川、矢口、阿山、氏家、伊藤、中野の6名が参加した。新しい技術委員会が2つ設立され、内1つは日本(氏家)が委員長を務める。

- ①TC1-57: "Colorimetry - Part4: CIE1976L*a*b* colour space" の部会投票に対して、日本から賛成の投票を行った。

- ②CIE TC1-37: 「補助測光システム」(佐川賢委員長): TCレポートを委員長が準備中である。

- ③CIE TC1-30「視感効率関数」(池田光男委員長): TC1-30はR1-38に移行し、Chairman's reportとして早急にレポートをまとめる予定である。

- ④CIE TC1-46「等価輝度の概念と応用」(中野靖久委員長): 現在、第2次ドラフトを作成中である。

- ⑤CIE TC1-54「視覚応答の加齢変化」(佐川賢委員長): 視覚の加齢変化を、分光感度、視力、コントラスト感度について既存データを集め、分析し、それをまとめた報告書が準備されている。一方、CIEの事務局に高齢者の照明方式を検討し、そのガイドラインを作成するワーキンググループが設置された。本委員会はそのグループと連携を取り、データなどを共有する。

- ⑥CIE TC1-61「色のカテゴリーマップ」(石田泰一郎委員長): 照度に応じた色カテゴリー領域を色空間上に記述することを目的とした委員会である。現在は、色カテゴリーの実験データや使用する色空間について検討中である。
- ⑦CIE R1-37「目だちの視野」(伊藤納奈レポータ): 現在までに研究されている視野の様々な機能について調査し、視野機能をいくつかのカテゴリーに分け、それぞれの概要について報告を行った。
- ⑧CIE R1-19「異色明るさマッチングの個人差の分類法」(矢口博久レポータ): レポートの作成状況を報告した。2006年5月オタワで開催予定の第1部会会議にレポートを提出し、本レポートは解散する予定である。
- (5) CIE 第2部会「光と放射の物理測定」(齊藤一朗部会委員)
・第2部会会議とTC会議が2005年5月16日～5月18日にスペインのレオンで開催された。第2部会会議の参加者は約47名。日本からは齊藤一朗部会委員(産総研)他3名が出席した。
- ①前回部会会議以後の作業状況: CIE 国際照明用語の第2部会担当分の改訂版作成作業がほぼ終了した。DS010 (CIE Standard for $V(\lambda)$ and $V'(\lambda)$: ISO/CIE) ならびに DS014-2 (Reformulation of CIE Standard Illuminants A and D65) を作成した。
- ②技術委員会の終了: TC2-35: $V(\lambda)$ および $V'(\lambda)$ の CIE 標準 (委員長 K.D.Mielenz, アメリカ)
- ③TC2-53の名称を「材料に対する多様な幾何学条件での測色」から「特殊色彩効果を発現する材料に対する多様な幾何条件での測色および評価指標」に変更した。
- ④技術委員会の解散: 以下のレポートを解散した。
R2-27: 反射率、透過率測定の ISO/CIE 規格 (委員長 D.Rich, アメリカ)
R2-28: 測色計の分光応答度評価 (委員長 B.Kranicz, ハンガリー)
R2-33: レーザプロジェクトの測定 (委員長 K.Niall, カナダ)
- ⑤ISO/CIE 規格作成を目指した5つのTCの活動状況:
TC2-35: $V(\lambda)$ および $V'(\lambda)$ の CIE 標準は, ISO23539:2005(E) /CIE S010/E: 2004 "Photometry-The CIE System of Physical Photometry" を出版した。
TC2-40: 照度計, 輝度計の特性記述は, 第3ドラフトより進行していない。
TC2-46: LEDの光度測定に関する CIE/ISO 規格は, 第6ドラフトを審議した。最終ドラフトを作成し, TC投票を予定している。
TC2-56: 再帰反射測定の CIE/ISO 規格は, TC会議を開催した。
TC2-57: CIE S014-2の改定は, 報告なし。
- (6) CIE 第3部会「屋内環境と照明設計」(古賀靖子部会委員)
2005年9月にドイツ・ベルリンにおいて部会会議が開催された。TC3-30「ライト・ガイド (光誘導パイプ)」による技術報告書 CIE 164: 2005「ライトガイドの技術と応用」が出版され, TC3-33「照明計算プログラムの評価」, TC3-38「昼光ガイド・システム」, TC3-40「屋内照明システムの保守」による技術報告書のドラフトが, それぞれ部会投票にかかった。新たに, TC3-42「照明設計ガイド」, TC3-43「光と健康」が設置された。
・CIE R3-13 (古賀靖子レポータ): 第3部会による用語集 (第9章および第10章)の改訂案は, 2004年に部会投票および理事会投票にかかり, 全て賛成票を得た。他部会からの用語集改訂案も2004年末までに提出したが, その中の用語と定義の矛盾を解消するため, 2005年5月にスペイン・レオンにおいて国際協調

委員会が開催された。その結果, 以下を取り決めた: 1) 国際照明用語集・第5版は, IEC (国際電気標準会議) と合同で出版しない, 2) 国際照明用語集・第5版は2篇に分け, 第1篇には一般用語, 第2篇には応用に関する用語を掲載する, 3) 用語はアルファベット順で示す, 4) 国際照明用語集・第5版は, 英語のみで出版する, 5) 必要な各国国内委員会は, 翻訳出版を行える。

- (7) CIE 第4部会「交通照明と信号」(斎藤孝部会委員)
2005年5月にスペインのレオンで開催された部会会議と以下の5つの関連技術委員会で, 報告書原案の審議などを進めた。
TC4-15「道路照明 (Pub.30.2の改訂)」(委員長: S.Onaygil)
TC4-21「天文観測に対する公共照明の干渉」(委員長: M.Gillet)
TC4-26「道路照明施設の測光量の測定システム」(委員長: G.Rossi)
TC4-40「再帰性反射の交通標識の要件」(委員長: P.Calson)
TC4-43「道路トンネルの非常時の照明」(委員長: M.Gillet)
また, 以下の3つの関連技術委員会と1つのレポートが新設された。
TC4-44「道路照明の保守・管理」(委員長: P.Hautala)
TC4-45「自動車照明」(委員長: G.Draper)
TC4-46「道路信号灯 (300mm)」(委員長: C.Andersen)
R4-29「研究課題の整理」(レポート: D.Stark)
・TC4-36: 「道路照明の可視度設計」において, 成定康平委員がテクニカルレポートの第8章を執筆中である。
・TC4-43: 田中敦子・斎藤孝両委員が「道路トンネルの非常時の照明」の第2ドラフトの調査, およびドラフトに対する日本からの意見を検討した。また, 田中敦子委員が2005年11月にボストンで開催された会議に参加し, 日本からの意見と国内の関連研究を報告した。ドラフトの骨子が定まる前に日本の意見をきちんと提案できたことは特筆すべき点である。
・TC4-46: 安藤正道委員が国内の信号灯法規を英訳してTC委員長に送付した。
- (8) CIE 第5部会「屋外及びその他の照明応用」(川上幸二部会委員)
スペイン・レオンで開催された部会会議およびTC会議に, 川上部会委員が出席した。新たなTCとして, TC5-22「屋外投光照明器具のビームパターン」(S.Davis, アメリカ), TC5-23「屋外施設における半円筒面照度使用のためのガイドライン」(P.Rombauts, ベルギー) が設置され, それぞれ西村唯史 (松下電工), 川上幸二 (岩崎電気) を委員として推薦した。
・TC5-11: 2005年4月に再度部会投票に付され, 2006年1月に CIE 169: 2005として出版される予定である。
・TC5-13: 「屋外作業場の CIE/ISO 規格」は, CIE S015と CIE S016の2つの CIE 規格として出版された。
・TC5-16: 「民間財産のセキュリティ照明」の Draft4へ向け, 顔の視認性に関する研究などの国内の研究資料を送付した。
・TC5-19: 2006年1月に CIE DS020.2として出版される予定である。
- (9) CIE 第6部会「光生物学と光化学」(河本康太郎部会委員)
2005年9月にエクスレバンで部会会議が開催され, 下記の諸議題について審議・検討並びに今後の施策の決定を行った。
・CIE TC6-39: 技術報告書第2次原案に対する欠席TC委員の意見・コメントの収集中である。
・TC6-57: 最近の実験データ, および作用スペクトルのまとめ

方について議論した。

- ・ CIE R6-01：2007年7月のCIE北京大会までに報告書を提出する予定で資料収集・解析中である。

(00) CIE 第8部会「画像技術」(会津昌夫部会委員)

2005年11月12日にスコッツデール市で部会会議が開催された。

- ・ TC8-01：CIECAM02としてTRが発行され、本TCは解散した。
- ・ TC8-02：ピクトリアル画像の色差を評価するのにふさわしい色差式はどういうものかの検討を行っている。
- ・ TC8-03：入出力デバイス間の色域整合方式(GMA)の調査、性能比較実験方法のTRの発行および3団体から実験報告書が提出されている。今年は、今後の進め方について審議が行われた。
- ・ TC8-04：複数照明下での順応変換を求める手法をTRとして発行し、本TCは解散した。
- ・ TC8-05：拡張色空間の評価方法に関するTRを発行し、TCの

解散が決まった。

- ・ TC8-06：画像用語集の第一版という位置付けで、発行作業に入ることが決まり、活動を終了した。
- ・ TC8-07：「マルチスペクトラル・イメージング」は、特に進展はなし。
- ・ TC8-08：目的をHigh Dynamic Range Imagingの技術領域に特化することが決まり、それに伴い、名称を、“Spatial Appearance Models”から“Spatial Appearance Models for High dynamic range Images”に変更し、Terms of referenceを再定義して投票を実施し、日本を含む各国部会委員全員賛成で可決された。
- ・ R8-05 (Image Appearance)：レポートのMark Fairchild氏から、未完ながら中間報告の位置付けでレポートの提出があった。
- ・ R8-06 (Result of CIECAM02)：レポートのNathan Moroney氏から口頭でレポートはまだ完了していない旨、現状報告があった。
(小松原 仁・財日本色彩研究所)

照明学会誌原稿募集

現在、学会誌は年13号発行されております。このうち4号は論文号、1号は年報号として発行され、残りの8号が特集号となっております。

その中で一般記事のみの学会誌の発行も企画いたしております。記事の種別は問いませんので、皆様からの積極的なご投稿をお待ちいたしております。

記事の種別：論説、座談会、技術総説、資料、施設報告、解説、ミニ解説、誌上討論、研究室紹介、会議報告、寄書、会員の広場、やさしい照明技術、楽しいあかりのヒント、私の視点、支部だより

執筆要領：「寄稿のしおり(一般号・年報号)」(照明学会HPに掲載)をご参照下さい。

掲載号：学会誌編集委員会で決定いたします。

申込先：〒101-0048 千代田区神田司町2-8-4 吹田屋ビル3階

TEL：03-5294-0101 FAX：03-5294-0102

E-mail：ieijjour@sepia.ocn.ne.jp URL：http://www.ieij.or.jp/

原稿提出先：社団法人照明学会 学会誌編集担当：中村三七雄